

近現代史

読書会「近現代史」

❖ 生まれ ❖

近現代史に関心のある仲間が集まって、2002年8月にスタートした読書会です。最初は司馬遼太郎著の『この国のかたち』をテキストにしました。当初はテキスト名または時代名を会の名前としていましたが、2020年6月から“近現代史”としました。

❖ 使用テキスト ❖

使用テキストと開始した年月は下表のとおりです。『この国のかたち』では終了まで6年余りを要しました。テキスト『一外交官の見た明治維新（上下）』から通史を学び、『占領と改革』で一段落しました。以降は疑問や理解の深さの追及に的を絞ることとし、現在『戦争の近現代史』を学んでいます。テキスト選定は会員から案を出し合い、皆で検討し決めています。表のようにそれぞれ特徴ある視点を持つ著者のテキストを選び、多様な見方・考え方を学ぶようにしています。

開始年月	テキスト	著者	出版社
2002. 08	この国のかたち（1～6）	司馬遼太郎	文春文庫
2009. 04	一外交官の見た明治維新（上下）	アーネスト・サトウ	岩波文庫
2012. 08	明治天皇（1～4）	トナルト・キン	新潮文庫
2018. 02	国際化時代「大正日本」	櫻井良樹	吉川弘文館
2018. 12	昭和史 1926－1945	半藤一利	平凡社
2020. 09	占領と改革	雨宮昭一	岩波新書
2022. 07	戦争の日本近現代史	加藤陽子	講談社現代新書
2024. 02	戦争の近現代史	保阪正康	幻冬舎新書

❖ PR ❖

近現代史は学校で余り学ばなかったケースが多いと思われます。改めて振り返ることにより新しい知識や学びが得られます。様々な考え方の方が参加することにより、気づかなかった解釈や、知らなかった知識も得られます。また会員で議論し意見交換する中でお互いの理解や親交が深まります。老化防止に役立つことは言うまでもありません。終了後の懇親会も大いに盛り上がります。

